



**THE ASSOCIATION FOR OVERSEAS TECHNICAL SCHOLARSHIP[AOTS]**

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534, Japan

Tel: 81-3-3888-8214 Fax: 81-3-3888-8242, 8264 E-mail: [information@aots.or.jp](mailto:information@aots.or.jp) URL: <http://www.aots.or.jp>

2009年1月

## 募集要項

中・上級管理者のための品質経営研修コース

**The Program for Quality Management Promotion**

**[PQMP]**

2009年7月1日～7月21日

## 1. コース開設の背景：

(財) 海外技術者研修協会 (AOTS) は、日本政府経済産業省(旧通商産業省)所管の民間技術協力機関として 1959 年に設立され、以来わが国の開発途上国に対する技術協力の一環として、約 170 の国・地域から約 143,000 人の技術者や経営管理者を研修生としてわが国に受け入れ、産業人材の育成に協力してきました。帰国した研修生は、それぞれの国の産業発展において重要な役割を果たしています。

AOTS は帰国後の研修生や各国の産業界のニーズ、および日系企業の人材育成ニーズに合致した研修コースを実施するとともに研修コースの開発に努めています。

中・上級管理者のための品質経営研修コース (PQMP) は、全開発途上国を対象として、日本企業に特徴的な経営・管理手法やその根底にある考え方を学ぶために設計されたフラグシップコースの一つで、品質経営を実践する能力を向上させることを目的としています。

## 2. 参加者の人数

25 名 (開発途上国)

## 3. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、組織全体の品質向上、品質経営に責任を有する中・上級管理者で、QC7 つ道具に関する基礎的知識を有した方
- (2) 年齢は 25 歳以上 60 歳以下で、品質管理・品質経営の分野で 3 年以上の実務経験を有する方
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
- (5) 心身健康な方
- (6) 開発途上国または地域に居住の方
- (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
- (8) 過去に本事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年 (183 日) 以内に開始されるコースに応募することはできません。

注意：

- (1) 日系企業、もしくは日本企業と資本関係にある企業からのお申し込みの方につきましては、職位に関わらず、該当する職務内容に従事している場合には参加可能です。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) AOTS が発行する身元保証書の使用は、研修査証取得のためだけに限ります。例えば、参加者のビジネスなどの目的に使用することはできません。
- (5) お申込の多いコースについては、受入企業または派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 4. 応募方法：

以下の応募書類を **2009 年 3 月 21 日 (土)** までに、AOTS 本部(東京)に到着するよう提出してください。国内からと海外からとでは、提出書類が若干異なりますので、ご注意下さい。

(海外からの申込みの場合)

- 1) 研修申込書、研修生個人記録申告書、及び問診書 (AOTS 所定様式)
- 2) 顔写真 (4×3cm) 2 枚 (裏面に名前を書いてください)

- 3) 勤務先概要を紹介する資料
- 4) ID カードコピー、パスポートコピー、自動車免許証コピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、住所が記載されているもの）
- 5) 事前研修レポート・質問表
- 6) 海外旅行傷害保険承諾書（AOTS 所定様式）
- 7) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式）  
この書類は、本人が署名の上ご提出下さい。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- 8) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

※上記 AOTS 所定様式（英語）は AOTS ホームページからダウンロードできます。

<http://www.aots.or.jp/use/kokunai/kaigai/moushikomi.html>

#### （国内からの申込みの場合）

AOTS ホームページ内の以下の案内をご参照下さい。

[国内からの申込手続き ⇒ 申込の方法 2\) 管理研修コース](#)

※AOTS 所定様式（日本語）は AOTS ホームページからダウンロードできます。

<http://www.aots.or.jp/jp/documents/kokunai/index.html>

提出された応募書類は、2009 年 5 月 14 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS 本部より連絡致します。

注：応募者が締切日時点で定員の過半数に満たない場合、本コースを中止または延期する可能性があります。

## 5. 研修コースの概要：

### ■ 目的

- (1) 日本における品質経営活動の現状と、その歴史的発展を学び、総合的品質経営（TQM）への理解を深めます。
- (2) 参加者の体験発表と討論を通じて、企業経営と品質保証との関わり合い、自国で品質経営を推進するためのステップや組織体制について具体的な手がかりを得ます。

### ■ 期待される効果

- (1) TQM 活動の枠組みと歴史的背景についての理解が深まります。
- (2) 日本企業の TQM 活動の主要な成功要因を知ることができます。
- (3) 各種の QC 手法を総合的に活用して、現在抱えている問題を解決するヒントを得ることができます。
- (4) QC サークル活動を自社・部門で推進する方法が具体的に理解できます。
- (5) 製造部門のみならず、設計部門及びサービス業における TQM 活動が理解できます。
- (6) TQM 活動における管理者の役割と責任への新たな洞察が得られます。
- (7) 自社の品質管理活動をさらに効果的に推進するための実践的な行動計画を作成することができます。

### ■ 期間

2009 年 7 月 1 日（水）～7 月 21 日（火）（3 週間）

### ■ 内容

理論・実践事例・適用方法を有機的に組み合わせたカリキュラム構成となっています。

コース参加者は、来日前に AOTS・WBT コース「Practical Tools for Quality Control-1」を受講して QC 七つ道具の知識を事前に復習していただきます。

〈講義および技法の演習〉

品質経営の考え方や品質経営の推進に必要とされる理論および技法を、講義や演習を通じて幅広く身につけます。また、日本でのQCサークルリーダー研修の内容を体験してQC手法の使い方を学習します。

〈企業見学〉

講義で学んだ技法が実際の企業経営ではどのように利用されているのかを、多くの企業見学を通じて検証するとともに、品質経営の実際について理解を深めます。参加者は、グループごとに見学のポイントの確認や質問事項の準備をしてから見学に臨み、各事例から学んだことを自社における行動計画へと反映していきます。

〈意見交換会〉

日本のQCサークル活動推進者と、QCサークル活動についての意見交換を行います。

〈具体的な行動計画作成のための実践的グループ討論〉

プログラムを通してグループ討論（研修事前レポートについての討論、中間グループ討論、グループ討論発表など）を行い、参加者が自社で品質経営を推進するための行動計画を作成します。参加者はそれぞれ個別組織における問題点を抽出し、おのおの問題点をグループ内で共有化します。さらに参加者は実際のTQM推進者像を描き、できるだけ具体的実践的な行動計画を目指します。最終日にはグループ討論の結果をまとめ、発表します。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕食後にグループ討論が行われることもあります。日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付きで行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ 主任講師

綾野克俊 東海大学大学院 教授 経済学研究科応用経済学専攻 主任

国内外の品質経営関係の学会および委員会のメンバーとして、数多くの品質セミナーやシンポジウム等で講演多数。TQMコンサルタントとしても多くの企業でTQM推進のための指導を行う。また2005年よりインドSRM大学 センター・オブ・エクセレンス・インTQMでチーフアドバイザーを務める。TQM関連の著書を多数出版。

■ 研修場所と宿泊施設

AOTS 横浜研修センター (YKC) (予定)

[http://www.aots.or.jp/jp/about/center/traffic\\_ykc.html](http://www.aots.or.jp/jp/about/center/traffic_ykc.html)

236-0004 横浜市金沢区福浦1丁目5-1

電話：045-786-1611 (受付)

ファックス：045-786-1625

6. 申込手続きと経費：

国内から [国内からの申込手続き](#) [国内からの申込（経費）](#)

海外から [海外からの申込手続き](#) [海外からの申込（経費）](#)

7. 個人情報の取扱いについて

AOTSが取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 財団法人海外技術者研修協会 総務部長  
連絡先： 総務部総務課 TEL: 03-3888-8211 e-mail: kojinjoho@aots.or.jp
- (2) 利用目的  
ご利用いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。  
それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。  
尚当協会の個人情報保護方針は<http://www.aots.or.jp/jp/privacypolicy.html>をご覧ください。  
(英語版は、<http://www.aots.or.jp/eng/privacypolicy.html> )

## 8. お問い合わせ：

財団法人 海外技術者研修協会 招聘業務課 課長 市浦計宏  
住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1  
電話 81-3-3888-8214 Fax 81-3-3888-8242 Email shouhei@aots.or.jp

### AOTS 海外事務所

バンコク事務所 (AOTS Bangkok Office) 所長 谷口幹治  
住所：14<sup>th</sup> Fl. SSP TOWER 3, 88 Silom Rd., Suriyawong, Bangruk, Bangkok 10500  
電話：66-2-238-5233～4, 268-0784 Fax：66-2-634-1200 E-mail：aots@loxinfo.co.th

北京事務所 (AOTS Beijing Office) 所長 田中宏幸  
住所：100004 北京市朝陽区東三環北路 5 号 北京發展大厦 703 室  
電話：86-10-6590-8265, 8266 FAX：86-10-6590-8267 E-mail：info@aotsbj.org.cn

ジャカルタ事務所 (AOTS Jakarta Office) 所長 鈴木裕典  
住所：6th Floor, Summitas I, Jl. Jend. Sudirman, Kav. 61-62, Jakarta 12190  
電話：62-21-522-6776, 6777, Fax：62-21-522-6661 E-mail：aotsjkt@aots.or.id

クアラルンプール事務所 (AOTS Kuala Lumpur Office) 所長 小平真巳  
住所：52A, Jalan SS 22/25, Damansara Jaya 47400, Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan  
電話：60-3-7726-7273, 7276 Fax：60-3-7726-7269 E-mail：info@aotskl.com

マニラ事務所 (AOTS Manila Office) 所長 吉岡治  
住所：18F Pacific Star Building, Sen. G. Puyat Ave. cor. Makati Ave., Makati City 1200  
電話：63-2-856-1690, 1691 Fax: 63-2-856-1692 E-mail: aots@pltdsl.net

ニューデリー事務所 (AOTS New Delhi Office) 所長 鈴木保己  
住所：Flat No. 1307, 13th Flr., Gopaldas Bhawan, 28 Barakhamba Road, New Delhi 110001  
電話：91-11-2370-4122, 4124, 4125 Fax：91-11-2370-4123 E-mail：contact@aotsindia.com

ハノイ事務所 (AOTS Hanoi Office) 所長 近藤斉  
住所：6F-04, Prime Center, 53 Quang Trung street, Hai Ba Trung District, Hanoi  
電話：84-4-3945-4995 Fax：84-4-3945-4996 E-mail：info@aots.com.vn

中・上級管理者のための品質経営研修コース [PQMP] 日程

2009年7月1日～7月21日

AOTS 横浜研修センター (予定)

月/日	午 前	午 後
6月30日(火)	(来日)	
7月 1日(水)	オリエンテーション / 開講式	事前研修レポート発表 “参加者間の情報共有と問題点の明確化”
2日(木)	講義：TQM 概論と QC 的問題解決法 “TQM への理論的導入” -品質の基本、品質管理の変遷、品質管理の概念と手法、TQM 推進方法 新製品開発における品質経営、製造における品質経営、QC 的問題解決法の考え方と進め方	
3日(金)	講義：TQM 推進の実際と品質管理 “TQM への実践的導入” -実践で役立つ考え方・仕組み・手法、PDCA サイクル、推進におけるトップの役割と推進者の役割、効果的な推進のためのキーワード、製造・設計における重要ポイント、モチベーション向上の方法	
4日(土)	講義：新 QC 7 つ道具 “アクションプラン作成のための手法” -QC7 つ道具と新 QC 7 つ道具、新 QC 7 つ道具の特徴、各手法の概要と適用方法	グループ討論 (1) - 問題点の洗い出し -
5日(日)	休日	
6日(月)	講義・演習：QC 的問題解決演習 (1) “QC サークルリーダー研修”	グループ討論 (2) - N7 による作業の指導 -
7日(火)	講義・演習：QC 的問題解決演習 (2) “QC サークルリーダー研修”	グループ討論 (3) - 見学先への質問表作成 -
8日(水)	講義：サービス業の品質経営 -サービスの定義、サービスの品質とその特徴、サービス業における TQM の推進	
9日(木)	講義：QC サークル “QC サークル活動紹介” -QC サークル綱領、効果的な QC サークルの進め方	企業見学：TQM 推進事例 (1) “日本企業の QC サークル活動推進の実例”
10日(金)	企業見学：TQM 推進事例 (2) “日本企業の QC サークル活動推進の実例”	企業見学：TQM 推進事例 (3) “日本企業の QC サークル活動推進の実例”
11日(土)	休日	
12日(日)	休日	
13日(月)	研修旅行	企業見学：TQM 推進事例 (4) “日本企業の品質経営の実例”
14日(火)		企業見学：TQM 推進事例 (5) “日本企業の品質経営の実例”
15日(水)		企業見学：TQM 推進事例 (6) “日本企業の品質経営の実例”

16日(木)	講義：品質機能展開 “新商品開発の際に品質に顧客の声を取り入れる方法論紹介” -市場品質情報の解析、要求品質、品質特性、品質展開表の作成、品質機能展開表、設計品質の設定と評価	
17日(金)	講義：商品企画の7つ道具 “日本の最新の7つ道具の一つ” -品質管理と商品企画7つ道具、ツール集、各手法の概要と適用方法、商品企画の組織	交流会：神奈川QCサークル “QCサークル推進課題の解決策を探る” -神奈川QCサークルメンバーとの意見交換
18日(土)	休日	
19日(日)	休日	
20日(月)	グループ討論(4) -個人発表指導-	グループ討論(5) -最終発表準備-
21日(火)	最終レポート発表	研修評価会/修了式
22日(水)	(帰国)	

- 注：1) 上記の日程は講師、見学先の都合、その他諸般の事情によって変わることがあります。  
 2) 夕食後にグループ討論が行われることがあります。  
 3) 土曜日・日曜日は休日となりますが、必要により研修が行われることがあります。  
 4) 上記日程の他、AOTS・WBT コースを受講します。

PRE-TRAINING REPORT

- The Program for Quality Management Promotion -  
[PQMP]

Please fill in the following items by using a personal computer, or similar equipment, or by handwriting in block letters. AOTS will duplicate and distribute it to lecturers and other participants as a reference material for the group discussion and the presentations to be held during the program.

1. Your name	
2. Name of your country	
3. Name of company/ Organization	
4. Outline of your organization  (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position and name of department  (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Present situation of quality management in your organization</p>	
<p>8. Most critical managerial problems related to quality, you are now facing, indicating their causes from your viewpoint</p>	
<p>9. Possible measures to solve such problems together with limitation factors</p>	
<p>10. Your expectations of the program in relation to the described problems</p>	

## Questionnaire(Level of Comprehension)

Name \_\_\_\_\_


Please indicate the level of your comprehension by checking the appropriate boxes.

**Level a** : You can explain what it is to others. Or you have ever applied it in your work.

**Level b** : You know what it is. Or you have ever learned it in school or by yourself.

**Level c** : You do not know it well. Or you have never heard of it.

No.	Subject	Comprehension			No.	Subject	Comprehension		
		a	b	c			a	b	c
1	QC Seven Tools				31	Design of experiment			
2	Check Sheet				32	Orthogonal array			
3	Histogram				33	Taguchi methods			
4	Cause and Effect Diagram				34	Multi-variate analysis			
5	Pareto diagram				35	Quantification Theory			
6	Scatter diagram				36	Sampling inspection			
7	Stratification				37	FMEA			
8	Control Chart				38	FTA			
9	$\bar{x}$ -R control chart, $\bar{x}$ -Rs control chart,				39	Design review			
10	p chart, pn chart				40	MTBF/MTTR			
11	u chart, c chart				41	Bath-tub curve			
12	7 Management tools for QC/ New QC 7 tools				42	PDCA cycle			
13	Affinity diagram				43	Work (operation) standard			
14	Relation diagram				44	Immediate remedy vs Recurrence prevention			
15	Tree diagram				45	QC story problem solving			
16	Matrix diagram				46	TQC/TQM			
17	Arrow diagram				47	Daily (work) management			
18	PDPC				48	Cross Functional management			
19	Matrix-data analysis				49	Management by Policy (Hoshin kanri)			
20	SQC				50	Quality table			
21	Normal distribution				51	Quality deployment/ Quality function deployment			
22	Standard deviation				52	Cost of quality			
23	3-Sigma rule				53	QC circle			
24	Process capability				54	Theory X, Theory Y			
25	Statistical test				55	ISO 9000			
26	Statistical estimation				56	ISO 14000			
27	Correlation analysis				57	OSHAS 18000			
28	Simple-regression analysis				58	Six Sigma			
29	Multiple-regression analysis				59	Balance Score Card			
30	Analysis of variance				60	Supply Chain Management			

WBT	管理技術	<b>品質管理基礎コース</b>	英語	
-----	------	------------------	----	---

**ねらい**

1. 品質管理の基本的な考え方を習得する。
2. QC七つ道具などの基本的な統計的品質管理手法を身に付ける。
3. 上記の習得により、製造現場における品質に関する問題解決を実践し、品質向上に貢献できる。

**特徴**

1. 章毎に事前チェックテスト、巻末に実力テストが付いているから、自分の実力が確認できます
2. 具体的な事例を用いた説明、グラフの書き方の詳細解説などの基本を学習できます。

**内容**

章	プログラム名	章	プログラム名	章	プログラム名
1章	品質管理概要	5章	グラフ	9章	ヒストグラム
2章	QC的ものの見方・考え方	6章	チェックシート	10章	散布図
3章	データの取り方	7章	パレート図	11章	管理図
4章	層別	8章	特性要因図		

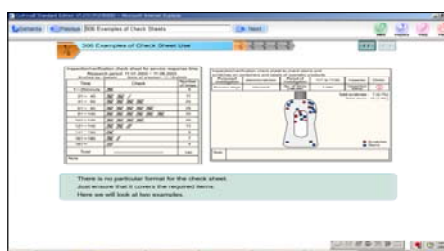
**受講条件等**

受講対象者	PQMPコース参加予定者
受講期間	コース開始1ヶ月前～コース終了まで（想定学習時間30時間）
受講料	PQMPコース参加費に含まれます

**ご利用方法**

AOTS遠隔研修ホームページ <http://d-training.aots.or.jp>にアクセスをしていただき、メニュー画面からログインしてください。

**サンプル画面**



**詳しくは下記までお問合せください**

**財団法人 海外技術者研修協会(AOTS) 研修部 研修開発課**  
 〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1      Tel: 03-3888-8238    Fax: 03-3888-8242  
 Email: [mmvtdc@aots.or.jp](mailto:mmvtdc@aots.or.jp)      <http://d-training.aots.or.jp>